

海の生き物観察講座

～磯の生き物編～

開催しました！



- 日時 令和元年8月1日（木）16：00～18：00
- 会場 高松市 浦生公民館及び浦生海岸
- 講師 磯の生き物観察力向上講座修了生
谷 光承 氏
山田 富士夫 氏

8月1日（木）に、高松市の浦生公民館及び浦生海岸で、「海の生き物観察講座～磯の生き物編～」を開催しました。初めに浦生公民館にて、磯の生き物観察のやり方について講師より解説がありました。



まず、「磯とはどんなところか？」や「磯に住む生き物はどんなもの？」について説明がありました。さらに、磯に生息する生き物の種類で、その場所の水質や生物環境の豊かさ（＝生物量の多さ）がわかるチェックシートを用いた観察手法や、磯で観察する際の注意事項の説明があり、子どもたちも積極的に質問していました。

今回は、海の水質のきれいさや生物環境の豊かさが分かる「瀬戸内海の海岸生物調査マニュアル」に基づいた観察を行います。講師の谷氏と山田氏をリーダーに、グループに分かれて、現場の磯へと移動しました。

「マツバガイ」、「カメノテ」、「ウノアシガイ」など、事前説明で紹介された生物も見られました。また、ギンポの仲間や、イソギンチャクの仲間、シャコの仲間も見つけることができました。採取した生物は、透明な容器に移して写真を撮ったり、チェックシートにあるかどうか確認しながら、シートにチェックしていきました。今回の観察結果では、浦生海岸の水質は“きれいな海”で、生物環境は“とぼしい”ことがわかりました。

夕方でもかなり暑い中での講座となりましたが、普段できない体験に、子どもたちは時間も忘れて観察に夢中になっていました。

最後は公民館に戻り、全員で講座の振り返りをしました。「海岸の生き物についての知識を楽しく深める事が出来て良かった。」、「多くの生き物を見つけ子どもも大人も楽しむことができました。」などの声が上がりました。

